

第7回 SAF 官民協議会
議事要旨

○日時 令和7年6月25日(水)13:00～15:00

○場所 ハイブリッド(経済産業省 840 各省庁共用会議室、Web)

○議題

- ①構成員の取組説明(石油連盟、定期航空協会)
- ②事務局からの説明
- ③自由討議

○議事概要

- ・ 冒頭、和久田 肇 経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部長から、開会挨拶。
- ・ 石油連盟から、資料3に基づき、SAFの導入普及への取り組みについて説明。
- ・ 定期航空協会から、資料4に基づき、国産SAFの社会実装に向けた現状と今後の論点について説明。
- ・ 事務局から、資料5に基づき、更なるSAFの導入促進策の検討について説明。
- ・ 質疑応答・自由討議の形で意見交換。構成員からの主な発言は次の通り。
 - 利用義務化などSAFを確実に引き取っていただくような制度の検討が必要。
 - 建設業界における人手不足を起因とする工期の延長、インフレの顕在化などの背景からSAF支援の柔軟な運用・拡充を検討していただきたい。
 - 供給側はFIDを目前に控えているため、今年中に空港インセンティブ、サーチャージ等、国産SAF普及のための具体的な施策について、議論することが必須。
 - 原料確保から消費者への価格転嫁の可能性も含めた、バリューチェーン全体の中で関係事業者全体でリスクを取りながら進めることが重要。
 - ジェット燃料とSAFの価格差については、自助努力も含め、国際競争力のある価格にした上で、最終手段として旅客に一部ご負担いただくようにすべき。
 - 国産SAFの国際競争力のある価格実現に向けた、更なる政府支援の検討をお願いしたい。
 - CAPEXの上昇、EPCの期間の長期化といった背景から、導入支援の在り方等は柔軟にお願いしたい。

以上